

令和7年度 地区別人権教育研究協議会

令和7年11月12日(水) 於:館林市立第二中学校

東部教育事務所では、小・中・義務教育学校における人権教育を推進するため、東部管内の先生方にお集まりいただき、地区別人権教育研究協議会を開催しています。今年度は、管内中学校、義務教育学校の人権教育主任に加え、開催地である館林市の小学校の人権教育主任および小学校、中学校の道徳主任の皆様に御参加いただきました。

開催校である館林市立第二中学校には、年間を通じて取り組んできた人権教育の成果を発表していただいたほか、人権教育の重要課題に沿った3つの授業を公開していただきました。また、参加体験型研修の実践も行いました。研究協議会では、参加された先生方が人権教育の視点を基に熱心に協議を行い、大変有意義な授業研究会となりました。

「研究テーマ」

自他の多様な側面を認め、自己有用感を高める生徒の育成

～互いの思いを分かち合い、認め合う活動の充実と

道徳科の授業における、考え方議論する場の工夫を通して～

《研究発表》

「自他の多様な側面を認め、自己有用感を高める生徒の育成」に向けて、校内研修と関連付けながら編成した3つの班、①自己有用感育成班、②道徳授業研究班、③評価・分析班のそれぞれの実践例を、研修主任より発表していただきました。



【研究発表の様子】

①自己有用感育成班の取組では、【認め合いの森】【ありがとうカード】【階段アート】【励まし・認め合う声かけ】【学級力を高める生徒主体の学級活動】【職員一人ひとりの意識改革】について、②道徳授業研究班の取組では、【道徳科の授業についての共通理解研修】【学年職員による輪番制道徳】【引継ぎシートの活用】【実態に応じた手立ての明確化】について、③評価・分析班の取組では、【教職員の人権意識の向上】【成果と課題の評価・分析】について、具体的な発表がありました。

「互いの思いを分かち合い、認め合う活動の充実」では、群馬県人権教育充実指針に基づき、人権教育の構造的指導（常時指導・間接的指導・直接的指導）を全職員で意識した取組を行うことで、人権教育を推進することができました。また、「道徳科の授業における、考え方議論する場の工夫」では、今求められている道徳科の授業について、全職員で研究を進めることで授業改善を推進することができました。

これらの実践を推進することは、生徒の人権意識の高揚に向けた体系的な取組として大変意義があり、他校でも参考になるものと考えます。人権意識の高揚を図るためにには、学校で行うすべての教育活動の中で意識的に醸成することが重要であることを、今回の研究発表から学んでいただけたと感じています。

《公開授業》

教科等	重 要 課 題	主 題 名
クラス	内 容 項 目	教 材 名
道徳	子どもたち	思いやりとは
1年2組	B(6)思いやり、感謝	見えない親切
道徳	女性	平等な社会を目指して
2年2組	C(11)公正、公平、社会正義	女子教育の夜明け ～津田梅子～
道徳	インターネット等による人権侵害	友だちとよい関係を築くために
3年1組	B(8)友情、信頼	合格通知

上記のとおり、3つの学年でそれぞれの人権重要課題に関する道徳科の授業を公開していただきました。全体会で発表された「道徳科の授業における、考え方議論する場の工夫」については、生徒の実態に応じた手立てを各学年で実

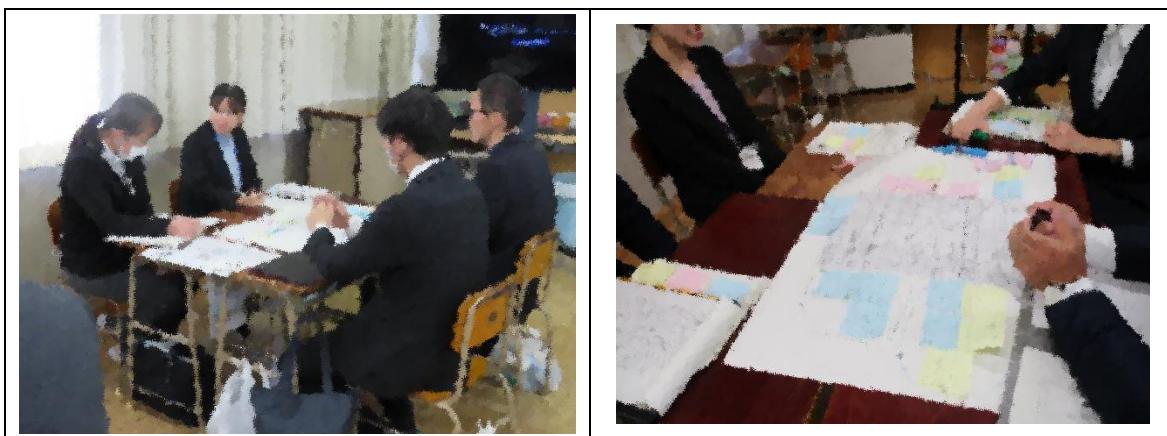
践していただきました。考え方議論する場を工夫し、人権教育の直接的指導において、道徳科の授業で人権重要課題の理解を深める具体的な姿を参観していただいたことは、大変意義のあることだと感じています。



【公開授業の様子】

《研究協議会》

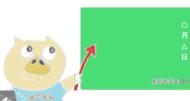
令和7年度の研究協議会は、二部構成で実施しました。第Ⅰ部の授業研究会では、公開授業を基に、人権重要課題に関わる直接的指導の在り方について、「人権教育としての授業研究の視点」を中心に協議しました。「成果」「課題」に加え、「参考になったこと」「改善策」についても活発な意見交換が行われ、多くの貴重な意見をいただきました。授業を公開してくださった先生方にとっても、参観された先生方にとっても、学びの多い授業研究会となりました。



【授業研究会の様子】

第Ⅱ部では、クロスロードを行い、参加体験型研修を実施しました。クロスロードは、大地震による被害軽減を目的に、文部科学省が進める「大

「都市大震災軽減化特別プロジェクト」の一環として開発されたもので、2004年7月に最初の「神戸編・一般編」が完成し、その後、様々な分野で活用が進められています。今回は、このクロスロードの手法を用い、正解・不正解のない事象に対して「自分と考えが同じ人、そして異なる人と話し合い、よりよい判断を考える活動」を通して、人権感覚の醸成を図るようにしました。参加者は「Yes」か「No」の立場を決め、事例に対する意見を交流することで、エージェンシーを發揮する土台となる人権感覚を養い、自分だけでなく他者も大切にする風土を少しずつ醸成できる体験をしていただきました。

【参加体験型研修の様子】	【使用した資料の一部】
	<p>第II部</p> <p>参加体験型学習 実践・情報提供</p> <p>●参加体験型学習とは…</p> <p>参加者が主体的に参加し、意見交換などをすることによって他者からの学びと自らの気付きを深める学習方法</p> 
	<p>あなたは 新採教諭です</p> <p>問題行動のあるAの生徒指導に悩んでいる。あなたの学年には、迅速かつ適切に助言や対応をしてくれそうなC先生や受容的にじっくり話を聞きあなたの意見を尊重してくれるD先生がいる。あなたはひとまずC先生に相談する?</p> <p>YES ← → NO</p> <p>(C先生に相談) (D先生に相談)</p>

<参考資料出典>

- ・災害対応カードゲーム教材「クロスロード」(減災への取組)：防災情報のページ - 内閣府

<参加者アンケートより>

《研究発表について》

- 人権教育の構造的指導の重要性が分かりました。人権教育を推進する上で、必要不可欠なものだと感じ、今後の実践で活用したいと思います。
- 人権教育の構造的指導は勉強になりました。直接的指導、間接的指導、常時指導を頭に置き、日々の指導をしていきたいと思います。
- 学年、学校全体で様々な形で人権感覚を育むような活動があり、とても勉強になりました。また、それらが生徒中心であったり、見えるように掲示されたりしていた点も勉強になりました。

《公開授業について》

- 使っているロイロノートが参考になりました。発問の仕方や流れがよく分かりました。発問の仕方、生徒との関わりもとても勉強になりました。
- 道徳科の授業における考えたくなる、話したくなる場面について学ぶことができました。
- 道徳科の授業において、めあてが生徒の言葉で作ることができることに驚きました。
- 全体を通して参考になる授業内の問い合わせや工夫を多く参観させていただくことができてよかったです。人権教育と並行に道徳的価値を達成するのはとても難しいことであるが、人権感覚を育みたいという教師の願いがあれば、有意義な授業になることを学びました。
- 個人的に、道徳科の授業作りは難しいと思っていたので、今回の参考にしたい手立てや工夫がたくさんあり、大変勉強になりました。

《研究協議会について》

< I 部 授業研究会について >

- 人権は幅広く奥深い課題ということから、生徒の思考を促す工夫や、教師も一緒に考えること、常時的な学級経営等、様々な視点から組み立てる必要があると改めて感じました。
- 多くの先生方と意見を交流することで、多くの学びを実感できました。
- 道徳科の授業のなかで、人権教育、人権感覚を養っていくことを授業者が少しでも意識して授業をする重要性に気付くことができました。女性、男性とい

う人権課題は、私自身も振り返ると反省しなければいけない行動を無意識にとってしまっていると感じたため、気を付けていきたいです。

<Ⅱ部参加体験型研修について>

- 参加体験型研修がとてもよかったです。クロスロードをぜひ児童にも、教員にも取り入れてみたいと考えています。
- クロスロードについて、交流を通して他者の考えに気付き、耳を傾け、協調することにつながり、ぜひ実践したいと感じました。ありがとうございました。
- 最後に行った体験型学習の「YES／NO」の活動においては、道徳科のなかでも生徒の中で起こりうる葛藤があった際に、どちらでもないのだなという気付きを得ることが人権感覚の育成につながることを学びました。
- 体験型はとても楽しくできたので自校でもやってみようと思います。

《その他資料》

○「拉致問題に関する中学生サミット」について 【全体会会場パネル展示】

8月8日（金）に開催された同サミットに、県代表として館林市立第二中学校生徒1名が参加しました。全国の中学生が東京に集まり、拉致問題について学び、拉致問題を同世代、家族、地域の人に自分事として考えてもらうためにはどうしたらよいか、グループ協議、全体交流などの活動を通して議論を行いました。写真は、参加生徒が報告のために作成したスライドです。報告の中で、「今ある日常に感謝する」や「家族を大切にする」ことを伝えたいこととして挙げていました。同サミットの詳しい内容については、以下のリンクからご覧ください。



＜参考資料リンク＞

[拉致問題に関する中学生サミット\(内閣官房 拉致問題対策本部事務局\)](#)

※令和7年度、東部管内小・中・義務教育学校の人権教育の推進のため、地区別人権教育研究協議会に向けて、御尽力いただいた館林市立第二中学校の皆様に感謝申し上げます。